愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトＡ		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業はプロジェクト型授業として、スポーツイベントの中で市民マラソン、トレイルランニングの大会をとりあげ、地域活性化につながる取り組み、市民の健康増進を図る大会の運営マネジメントを実践的に学ぶ。11月～12月に中部・東海地方、または沖縄で開催される大会に、選手として、またはボランティアスタッフ、給水・応援スタッフとして参加することにより（参与観察の方法により）、交通や宿泊を含めたマネジメント、チャリティ枠などを含めた地方創生につながる開催効果を調査し、学習することを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	スポーツイベント（11月～12月の1日～2日）への参与観察を中心とした、参加型共同学習を演習形式で行う。事前学習、事後学習、参与観察研究の成果のまとめを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学びのポイント、取組姿勢、目的と概要を確認。受講生の自己紹介。	□
第2回	地域研究（健康）	受講学生分担により、大会開催地域の社会的健康について共同学習を行う	□
第3回	地域研究（地方創生）	受講学生分担により、大会開催地域の地方創生について共同学習を行う	□
第4回	地域研究（交通・宿泊・観光）	受講学生分担により、大会開催地域の交通・宿泊・観光について共同学習を行う	□
第5回	スポーツイベント研究①（市民マラソン大会）	スポーツイベントとしての市民マラソン大会の歴史、健康効果、地方創生の役割について、共同学習を行う	□
第6回	スポーツイベント研究②（トレイルランニング）	スポーツイベントとしてのトレイルランニングの歴史、健康効果、地方創生の役割について、共同学習を行う	□
第7回	スポーツイベント研究③（広報・PR）	スポーツイベントの広報・PR、参加エントリー、ボランティア協力、企業の協力などの大会の広報マネジメントについて学ぶ	□
第8回	事前ガイダンス・打合せ	スポーツイベントの大会運営スタッフとしての事前ガイダンス・打合せを行う	□
第9回	スポーツイベント参与観察①（ボランティアスタッフ）	スポーツイベント大会への参与観察をボランティアスタッフとして行う	□
第10回	スポーツイベント参与観察②（給水・応援スタッフ）	スポーツイベント大会への参与観察を給水・応援スタッフとして行う	□
第11回	スポーツイベント参与観察③（警備・医療スタッフ）	スポーツイベント大会への参与観察を警備・医療スタッフとして行う	□
第12回	スポーツイベント調査（参加者・スタッフインタビュー）	スポーツイベント参加者、また市民スタッフへのインタビュー調査を行う	□
第13回	ふりかえり学習①（大会運営マネジメント）	大会への参与観察、インタビュー調査を踏まえて大会運営マネジメントについてのふりかえり学習を行う	□
第14回	ふりかえり学習☒　（地方創生効果）	大会への参与観察、インタビュー調査を踏まえて大会の地方創生効果についてのふりかえり学習を行う	□
第15回	成果報告会	参与観察研究・学習の成果をまとめ、報告を行う（プレゼンテーション）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業時間内の事前学習事後学習のほかに、市民マラソン等のスポーツイベントの参与観察を行う（1日～2日程度を予定）。参与観察の方法は、

選手として、ボランティアスタッフとして、また応援スタッフとしての参加になるが、事前オリエンテーション、主催者・関係者とのミーティング、大会運営に関する分担学習を行うため、各回4時間程度の自主作業が必要となる。 時間外活動が多く発生するため、スケジュール管理が求められる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

プロジェクトは随時進行状況が変化する。担当教員と履修メンバーはオンラインで資料を共有し頻繁な連絡を可能とする。 また、全員のコミュニケーションを密にしてプロジェクトの進行をすることが、より実践的な業務遂行の学習機会とする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	スポーツイベントの参加・運営をとおして、多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

事前学習、大会への参与観察、事後学習などをの過程をとおしての参加型共同学習の成果・得られた知見・クオリティなどを総合的に評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じデータ配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		